

宜野湾市と国立大学法人琉球大学及び公立大学法人名桜大学による  
地域における雇用創出・若者定着に係る協定書

宜野湾市（以下「甲」という）と国立大学法人琉球大学（以下「乙」という）  
及び公立大学法人名桜大学（以下「丙」という）は、宜野湾市における雇用創出・若者定着の推進を図るため、次のとおり連携協定を締結する。

（目的）

第1条 平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された乙及び丙のプログラム「新たな地域社会を創造する『未来叶い（ミライカナイ）』プロジェクト」事業（以下「COC+事業」という。）及び甲の「宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）の推進のため、宜野湾市における雇用創出・若者定着に関する目標を定め、その達成を図ることを目的とする。

（目標）

第2条 宜野湾市人口ビジョンでは、社会動態として大学等への進学に伴う若年層の転入が見られる一方で大学卒業時の転出超過となっている。そのため宜野湾市における雇用創出・若者定着に向けて、大学生が在学中に地域との関わりを持ち、卒業後もその関係を継続できる仕掛けづくりが重要となる。またCOC+事業における数値目標は、事業協働地域就職率14.2ポイント増（乙及び丙の事業協働地域での就職者数187人増）、事業協働機関雇用創出数（以下「COC+雇用創出数」という）18人である。

これらの全体の目標に関して、甲、乙、丙が第6条に定められた期間内において、前条に掲げた達成すべき目標は、以下のとおりとする。

- (1) 学生が卒業後も本地域に関わり続けられる関係の構築をめざして、乙や丙をはじめとする高等教育機関と連携して、甲の総合戦略等で位置づけられている地域の取組を地域と学生とで企画立案実施検証する仕組みを試行し、1件以上の事業を実施するとともに、参加学生延べ人数100人を目標とする。
- (2) 前項の取組等により学生が卒業後も本地域に関わり続けられる関係を構築し、COC+事業の数値目標である事業協働地域就職率14.2ポイント増及びCOC+雇用創出数18人に向けて、乙及び丙の新規卒業生による就職者数またはCOC+雇用創出数を毎年51名以上とすることを目標とする。

（連携する内容）

第3条 第1条に掲げた目的を達成するため、甲、乙、丙は以下の取組を連携して実施する。

- (1) 地域課題（ニーズ）の把握・提供、雇用関連の情報提供に関すること。
- (2) 雇用創出・若者定着に向けた教育、人材育成に関すること。
- (3) 既存産業の活性化、新産業の創出に向けた取組に関すること。
- (4) 学生の実践教育における場の提供に関すること。
- (5) 地域づくり活動への学生の参加促進に関すること。
- (6) 「健康都市ぎのわん」の推進に向けた市民の健康づくりに関すること。

(7) その他、目標を達成するために、甲、乙、丙が必要と認める取組に関すること。

2 前項の取組を進めるにあたり、必要な方策等については、3者による協議の上、別途定める。

（検証）

第4条 甲、乙、丙は、前条に掲げられた取組の実施後に成果検証委員会を設置し、第2条に掲げた目標に対する成果を検証し、必要に応じて取組の改善を行う。

（意見交換）

第5条 甲、乙、丙は、この協定の目的を達成するため、必要に応じて意見交換を行う。

（有効期間）

第6条 この協定は、締結の日から効力を有し、平成32年3月31日までとする。

（その他）

第7条 この協定に定めのない事項又はこの協定に疑義が生じた事項は、甲、乙、丙の3者による協議の上、決定する。

この協定の締結を証するため、本協定書を3通作成し、甲、乙、丙それぞれ署名押印の上、各自1通を保有する。

平成30年7月17日

(甲) 沖縄県宜野湾市野高一丁目1番1号  
宜野湾市  
市長

佐喜真 淳



(乙) 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
国立大学法人琉球大学  
学長

大城 肇

肇



(丙) 沖縄県名護市字為又1220-1  
公立大学法人名桜大学  
学長

山 里 勝 巳

